

PORT OF NAGOYA

名古屋港

整備拡充の要望



2026年 7月

愛 知 県
名 古 屋 市
名 古 屋 港 管 理 組 合
名 古 屋 商 工 会 議 所
一般社団法人中部経済連合会



要 望

名古屋港の2025年の港勢は、総取扱貨物量は1億5,938万トンと24年連続、輸出額と輸入額の差引額は8兆6,581億円と28年連続日本一を堅持しました。

名古屋港は、**産業や生活を支え、日本の発展を物流でけん引する港**として、社会的課題への対応を更なる成長の機会と捉え、経済的価値と社会的価値が両立した新たな価値を創出し、持続的な発展を目指してまいります。

物流面では、「**経済を先導する港**」として、日本経済をけん引する中部地域の基幹・次世代産業の経済活動を促進させるため、**自律的な港湾ロジスティクスの実現による国際競争力の強化**が重要となります。そのためには、コンテナターミナルにおいて、ストック効果を最大限発現し、**コンテナ取扱機能強化を集中的に推進する**必要があります。また、**港湾のDXを推進していく**ためにも、深刻化するサイバー攻撃に対して、より一層、**サイバー面での港湾の強靱化**を図る必要があります。さらに、ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラル実現の両立に貢献していくため、名古屋港港湾脱炭素化推進計画に基づき、関係者と連携して**カーボンニュートラルレポートの形成**を推進してまいります。

防災面では、「**安全・安心な港**」として、南海トラフ巨大地震等の大規模災害から地域の生活や産業を守るため、「**第1次国土強靱化実施中期計画**」に基づき、**防災インフラの耐災害性強化**や、港湾施設における**老朽化対策の更なる加速化・深化**を図る必要があります。

交流・環境面では、「**多彩な魅力ある港**」として、周辺開発と一体となった魅力ある地域づくりに向けた**良好な水辺空間の形成**を推進するとともに、港内環境を良好な状態に維持し、**秩序ある公共水域の利用**を図るため放置艇対策を進めてまいります。

これらの実現に向け、地域としても全力を挙げてまいります。格段のご理解と更なる支援が不可欠です。

つきましては、**港湾整備及び海岸整備に必要な予算の確保**、並びに**施策の推進**に向け、次の事項について格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

「経済を先導する港」

- コンテナ取扱機能の強化に向けた、飛島ふ頭地区のR2岸壁改良（増深・耐震）の着実な推進および荷役機械（ガントリークレーン）整備に対する財政支援
- 港湾運送事業におけるサイバーセキュリティ対策の強化を図るため、セキュリティ対策に係る補助制度の創設
- カーボンニュートラルポートの形成を推進するため、荷役機械等の水素化に向けた実装実証に対する支援や、水素燃料電池及び電動化荷役機械等の導入に対する支援制度の拡充
- 港湾運営の効率化を図るため、港湾運営会社が取得した荷捌き施設等に係る固定資産税・都市計画税を軽減する支援制度の延長および拡充
- 持続的な港湾整備に必要な機能を確保するため、中部国際空港沖における名古屋港の浚渫土砂処分場整備の着実な推進

「安全・安心な港」

- 防災インフラの耐災害性強化に向けた、海岸保全施設における地震・津波対策の早期整備への財政支援
- 金城ふ頭地区における岸壁の老朽化対策をはじめとした、港湾施設の老朽化対策に対する財政支援および着実な推進

「多彩な魅力ある港」

- 魅力ある水辺空間の形成に向けた、港と都心を結ぶ中川運河のプロムナード整備や運河改良への財政支援
- 放置艇対策の推進に向けた、弥富ふ頭地区のボートパーク整備への財政支援

2026年7月

愛知県知事

大村秀章

名古屋市長

広沢一郎

名古屋港管理組合管理者
名古屋市長

広沢一郎

名古屋商工会議所会頭

嶋尾正

一般社団法人中部経済連合会会長

勝野哲

名古屋港の実力 2025 年名古屋港の日本一

24年連続
日本一

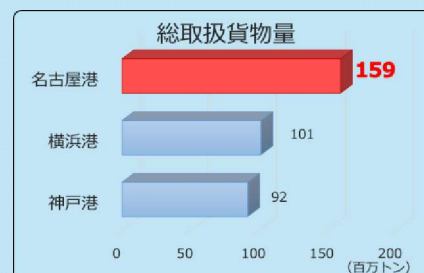
総取扱貨物量
1億5,938万トン

2002年から24年連続



外買取扱貨物量

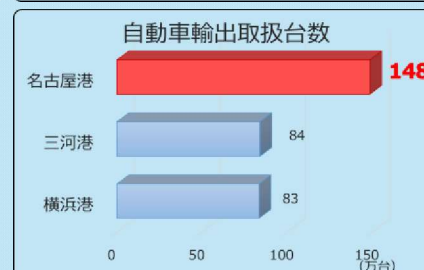
26年連続
日本一



47年連続
日本一

自動車輸出台数
148万台

1979年から47年連続



28年連続
日本一

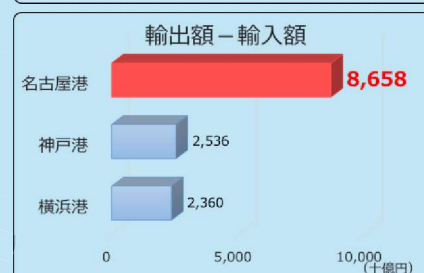
輸出額－輸入額
8兆6,581億円

1998年から28年連続



貿易輸出額

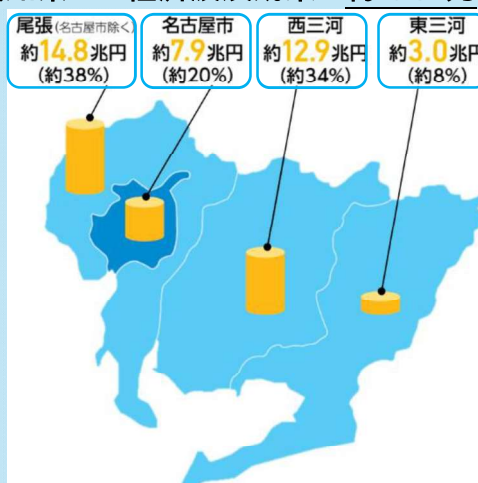
27年連続
日本一



名古屋港の経済効果

全国への
経済波及効果
約56兆円

愛知県への経済波及効果 約39兆



愛知県民が購入する



食料品のうち約16%



衣類のうち約88%



家具のうち約58%

が名古屋港経由

A yellow and blue ferry boat is moving across a body of water, leaving a white wake. In the background, a city skyline with various skyscrapers is visible under a blue sky with white clouds. The image is framed by a yellow border.

「経済を先導する港」

飛島ふ頭地区のR2岸壁改良および荷役機械整備

岸壁増深により船舶大型化に対応、東南アジア航路の維持拡大に貢献



港湾ロジスティクスの強化

サイバー面での港湾の強靱化やターミナル運営機能の強化

サイバーセキュリティ対策に係る補助制度の創設
港湾運営会社の税制支援制度の延長及び拡充

飛島ふ頭

R1 岸壁（耐震）（改良）
延長 350m、水深 15m
供用中

R2 岸壁（耐震）（改良）
延長 350m
水深 12m→15m

荷役機械の整備
（ガントリークレーン）

施工状況

提供：中部地方整備局

カーボンニュートラルポートの形成

地域の脱炭素化への貢献や新たな投資誘引

水素燃料電池換装型 RTG の整備



中部国際空港沖 土砂処分場の着実な整備

中長期的な浚渫土砂処分先の確保

中部国際空港沖

土砂処分場の整備

「安全・安心な港」

海岸保全施設の地震・津波対策

対策が必要な区間 6km の早期整備



施工状況

現地状況



港湾施設の老朽化対策

予防保全型インフラメンテナンスへの早期転換



陥没発生

「多彩な魅力ある港」

中川運河のプロムナード整備や運河改良

親水エリアにおけるにぎわい空間の創出



中川運河



弥富ふ頭地区の ボートパーク整備

放置艇の減少や二次災害防止



放置艇の現状



整備イメージ